坂ろうだより

第８号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和７年１２月１日

響け！届け！みんなの思い　　東京2025デフリンピック
おめでとう　金メダル　小倉　涼　先生

11 月 15 日～26 日に開催された「東京 2025 デフリンピック」は、多くの感動とともに幕を閉じました。100 年目にあたる記念すべき大会で、日本開催は初めてです。本校児童生徒は、21 日、23 日、24 日に実際の会場で観戦し、世界トップレベルの競技の迫力を肌で感じることができました。小学部は、陸上競技と空手を、中高等部は生徒の希望に応じてグループを組み、バレーボール、卓球、水泳、空手を観戦しました。授業で取り扱ったサインエールで日本選手にパワーを送ったり、観客席や会場周辺で海外の方と積極的に交流したりして、笑顔が飛び交っていました。そして朗報です。小学部教員　小倉涼先生が　空手「個人（女子）形」の部で銅メダルを、「個人（女子）組手－61 キロ級」の部では、金メダルを獲得するという大活躍を見せてくれました。児童生徒は先生の勇姿に大きな刺激を受け、スポーツの素晴らしさや努力し続ける大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

組手　ウクライナ選手との決勝戦

組手　金メダル表彰式

形　銅メダル表彰式

校内も大興奮！デフリンピック･パブリックビューイング開催　11月24日（月）

東京 2025 デフリンピックの熱気は、会場だけでなく本校にも広がりました。振替休日の 11 月 24 日（月）、本校会議室にて、小学部（低学年・重複学級）および中高等部（重複学級Ⅰコース）の児童生徒が登校し、パブリックビューイングでの応援に大いに盛り上がりました。小倉先生が出場した「空手・組手」の準決勝をライブ配信で観戦しました。試合の展開にハラハラドキドキしながらも、児童生徒たちは一生懸命に応援し、先生が勝利した瞬間には、会場中が大きな歓声と拍手に包まれました。校内にいながらも、世界の舞台で活躍する選手たちの姿に触れ、みんなで一体となって応援することができたこの時間は、児童生徒にとって心に残る貴重な体験となりました。

野外体験学習（中・高等部重複学級）　１１月１３日（木）

11 月 13 日（木）、鶴ヶ島市農業交流センターにて野外体験学習を実施しました。体験の内容は里芋掘り体験です。天気は終日曇りでしたが、生徒たちの楽しそうな表情もあり、少し日が差す時間もありました。里芋を収穫した生徒たちは満面の笑みで採れた喜びを実感することができました。収穫が終わった後は近くのこすもす作業所にて昼食をとりました。各々好きなメニューを事前に選び、料理が運ばれてくると嬉しそうな表情をしていました。昼食後は交流センター近くに山羊が飼育されており、餌やり体験を行いました。充実した１日を過ごせた様子で、みんな良い表情で終わることができました。

やきいも会　（幼稚部）１１月１８日（火）

秋の行事「やきいも会」を行いました。子どもたちはさつまいもをアルミホイルで包み、熱くなった焚火へそっと入れました。校庭に広がる香ばしい匂いに「まだかな？」とのぞき込む姿も見られました。ほくほくのおいもを味わうと笑顔があふれ、友だちと一緒に季節を感じる温かい時間となりました。自分で準備したおいもを食べることで、協力する楽しさも経験できました。

夢が叶う瞬間に立ち会うことができて　感動！

校長　桑原　智子

東京 2025 デフリンピックにおいて、小倉 涼 選手（教員）が　空手個人（女子）形で銅メダル、個人（女子）組手で金メダルを獲得し、学校は大いに盛り上がっています。会場である東京武道館（足立区）は、柔道の際に観客が殺到し、開場時刻を過ぎると昼まで入場できない状況が発生していました。人気の競技は、応援に行っても観戦できないことが予想されたため、観戦計画を急きょ変更、川越駅集合時刻を 6 時 50 分に変更したり、学校集合⇒スクールバスで会場へ向かうことを断念して校内にパブリックビューイングを設置することにしました。さらに、空手組手準決勝において、ライブ配信は第 1 コートのみ、第 2 コートの小倉選手が配信されないことが分かり、急きょ私のスマホで Zoom ビデオ通話を活用して校内につなげる等応援側も必死の状況でした。児童生徒、保護者、職員、それぞれが現地、学校、自宅で観戦でき、子供たちに夢を与える活動が実現できたことにホッとしています。プレッシャーに動じず仕事と練習を両立させてきた小倉選手の努力はもちろんですが、児童生徒の応援と大東文化大学空手部の応援がより一層勝利へ導いたのではないかと思っております。日本開催を機にデフリンピックの認知度も上がりました。さまざまな競技を通して、児童生徒は世界の広さと多様性を身近に感じることができ、心に残る体験となりました。聴覚障害者や手話に対する理解が深まり、先輩の活躍を機に子供たちの夢が広がるよう支援していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。坂戸市の皆様、応援してくださった関係の皆様、報道を通じて興味を持ってくださった方々、皆様の温かい、そして熱い声援・応援ありがとうございました。心より感謝いたします。